

関西版

大阪支社

〒550-0044
大阪市西区靱本町
1丁目15-10(森田ビル)
電話・06(6445)6935
FAX・06(6445)6938

戸建て住宅用換気部材

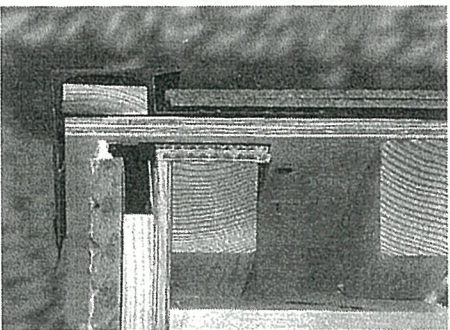
ハウゼココが開発 業界初

換気部材メーカーのハウゼココ(本社・大阪市中央区、社長・神戸睦史氏)はこのほど、「防水ケラバパッキン」を開発し販売を開始した。防水ケラバパッキンは戸建住宅用で、ケラバ側の垂木と野地板の間に置く換気部材。垂木と野地板の間に設置する換気部材では業界初の製品となる。

都市部の面積狭小地だ。妻側から通気見切

域では軒の出が少ないりなどで熱気排出する住宅が増えている。そのケースでは、該当部位の多くの地域は準防火域である。戸建て住宅で軒の出があれば、壁内側(胴縁)の熱気は軒天井から排出できる。しかし、軒の出が少ない住宅では熱気排出の点で問題があった。

同社は顧客の要望で防水ケラバパッキンを開発した。「発想を転換し、換気部材の設置場所を従来の屋根と外壁の取り合い部分から垂木と野地板の間に移動し、熱気を安全に逃がすことが可能になった。素材はポリプロピレン製と鋼板製がある。発売して間もないが、評判は上々だ」(神戸社)



戸建て住宅用換気部材「防水ケラバパッキン」(写真中央、モデル)

ある。防水ケラバパッキンを使用すれば、防火認定の問題は避けられる。熱気を小屋裏に逃がすことから、換気棟は屋根と外壁の取り合い部分に換気材を設置すれば、防火認定の問題が発生するケースが長。

大阪鉄流協の市況動向

需要上向き、価格横ばい

大阪鉄流流通協会は7月5日～6月と日る。

7月以降は、旧盆休みの荷動きは変わらず堅調な動き。加工の引き合いも増えている。在庫はアングルのベースに歯抜けが見。H形鋼も6月末に1割減りサイズによっては品薄だが、荷動きとの見合いでは依然多め。流通の下げ代がなくなってきたこと、メーカーの物件価格値上げで相場は下げ止まっている。

来月以降は、旧盆休み明けから9月に掛けて需要が本格的に出てきそう。メーカーに定修があることや物件でロールが順調に埋まっていることから在庫が積み上がることはなさそうだ。

【棒鋼】異形棒鋼は、新規成約は落ちているが、6月の出荷量が3万ト弱

がんばる“中小企業”

28

鋳物メーカーの経営戦略

三栄金属工業所(本幅広い。生産量は月2に用いる。アルミ鋳込社・京都市南区、社長トペースで推移しておみヒーターの場合、マックス350度までの加熱が可能という。わ

7(昭32)年の創業。キタ能力のアルミ溶解